

【転居された方は事務局 (svcf-admin@svcf.jp) まで転居先をお知らせください】

汚染水処理に関わる安全と安心のギャップ

安藤 博

「風評」が怖いのは、火元がわからない不審火と同じように、どこから何故出てきたかがはっきりしないまま広がり勢いを増ましていくことです。未然に抑えようにも、その手立てに窮します。東京電力福島第一発電所の廃炉作業が進んでいく傍らで溜まり続けている放射能汚染水の処理に関しても、問題となるのは「風評」です。政府(経済産業省資源エネルギー庁)は、多核種除去設備(ALPS)等で処理した水(ALPS処理水)をさらに水で薄めて海に捨てる方針を、<多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会>(委員長、山本一良/名古屋学芸大学副学長)の審議等を通じて次第に表に出してきましたが、1月31日の同小委<取りまとめ>は、「ALPS処理水の処分を急ぐことにより、風評被害を拡大し、復興停滞させることがあってはならない」とくぎを刺しています。

ALPS処理水の海洋投棄に対しては、福島で捕られる魚の汚染についての風評が増幅するのを心配して、当然ながら地元の漁業関係者などが反対するでしょう。1月31日の同小委員会<取りまとめ>には「今なお農林水産物や観光業を中心として風評被害の影響が残り、政府が、こうした現状を認識したうえで、福島の復興及び再生を更に進めるため前面に立って取り組むことを期待したい。」とあります。

しかし「前面に立って取り組む」政府とは、どこの誰を言うのか。「科学的には安全」と説得することで、反対する漁業者などの「安心」を得られるのか。そうした説得をするのは結局誰なのか。実際に海に投ずることをする東京電力か、あるいは福島県か。

そもそも、風評を制御出来るでしょうか。特に国際的な広がり考えた場合は困難でしょう。たとえば、日韓関係がこじれている中で、韓国はこれまでも日本の水産物に対する輸入規制を続けてきました。

「科学的にみて安全だ」と政府が宣言しても、身近

に海洋投棄の影響を感ずるひとびとの「安心」との間には大きなギャップがあります。現状のままで福島県の海にALPS処理水(希釈水)が投棄されることになれば、地元(福島県)と国(政府)とが厳しく対立することになるでしょう。辺野古新基地建設を巡って地元と国が対立する沖縄と同じ事態になりかねません。そうした対立は、小委の<取りまとめ>にも述べられている通り、福島復興に大きく響くことです。



東電福島第一原発構内で増え続ける汚染水貯蔵タンク

(出典 東京電力ホールディングス ホームページ)

私たち福島原発行動隊は2019年11月7日、衆/参両院議長に、以下の通りの「[放射能汚染水を福島県沖に放出しないことに関する請願](#)」を送りました。同月9日経済産業委員会に付託されています。

【(前略) 徴用工問題に端を発して日韓関係が悪化する中で汚染水処理は国際問題化しており、現時点で福島県沖への海洋放出・放出方針の決定を行うことは、来夏に迫った東京オリンピックに対する悪影響を生むおそれもある。

ついては、次の事項について実現を図られたい。

一、現時点においては、東京電力福島第一原子力発電所構内で発生する放射能汚染水(処理水)を福島県沖に放出すること並びに福島県沖への放出方針の決定を行わないよう、東京電力、経済産業省に対して指導すること。】

第 89 回院内集会

1 月 23 日 (木曜) 11-13 時、参議院議員会館 B106 号室

2020 年初めの院内集会は、2019 年 12 月 9 日の東電福島第一原発(1F)見学の際に行われた見学参加者(9 人)による“全国交流会”を踏まえて、交流会での討議を発展させるための討論を行った(交流会には、仙台から山口までの 7 人が参加)。

初めに、先導役としてこの見学に参加した杉山隆保/理事が交流会討議の概要を報告。

ついで家森健/行動隊員が、1F 見学に関して留意すべきことを述べた。「決められた見学コースを回るバスに乗

ってただ見るだけでは、観光旅行と変わらない。『労働者の実際の作業状況はどのようか』などの質問事項を予め提出しておくべきだ」と。

行動隊と同じころに 1F 視察を行った立憲民主党の山崎誠/衆議院議員(神奈川 5 区)と塩村あやか/参議院議員(東京都選挙区)の両議員が院内集会会場に来室し、視察の感想などを語った。山崎議員は、視察に先立ち廃炉資料館でおこなわれた映像による説明の最後に「責任のある再稼働」と写し出されていたのは「いかにも意外だった」という。「電力会社として原発再稼働を望むということなら分かるが、廃炉を進めている 1F の現場で『再稼働』を言うとは」というのが山崎議員には「驚き」であった。

「行動隊員の近況報告」

行動隊員 渡辺一民(福島市)

8 年前全国から 600 名もの有志の方々が隊員登録してくださり福島県民として大感激のうえ小生も隊員になりました。残念ながら最近ガン手術、抗がん剤治療などで体調不良を起こしましたが今は頑張って体力を回復すべく空手の稽古にも参加しております。現職の地域住民保健と臨床の仕事が忙しく行動隊活動に参加できないことを皆様方には大変申し訳なく思っております。ただし行動隊緊急招集がかかった際は必ず参集する覚悟しております。たまの休日には趣味の蕎麦打ちに挑戦しており繋ぎの無い 100%蕎麦粉を冷水のみで練り上げています。通常蕎麦



屋さんが作る長くツルツルした二八そばとは違って太くて短いごつごつとした田舎そばですが味と歯ごたえは通人達には喜んでもらえています。プロがやらない蕎麦作りを苦勞して楽しむことも人生には必要なことだと思っております。

討論集会：福島フォーラム

2/15(土曜日)

コラッセ福島(福島駅西口)

////////////////////////////////////

【行動隊 3 月スケジュール】

下記の会議・集会はどなたでも参加できます。

- ・院内集会：3 月 19 日(木曜)
- ・連絡会議：以下の各金曜日 6、13、20(休日)、27。

院内集会：3/19(木曜日)

汚染水問題シリーズ①

